ヒノキのキーホルダー

西川材である間伐材を活用した八角形のヒノキを使って、オリジナルキーホルダーを作りましょう。好きな絵や名前などを描いて、カバンやバッグにつけてもいいですね。

対象	実施時期	定員	所要時間
小学生以上	通年	５～１５０人	１時間

持ち物	プラザ貸し出し備品	材料
軍手	木ねじビット・ペンチ・カラーペン・ゴミ入れバケツ	木片(厚)・ヒートン・キーホルダー金具・紙やすり

ねらい

・想像力や表現力を高める。
・西川材間伐材の活用。
・名栗の自然物を使った思い出の作品を作る。

実施の流れ

打ち合わせ・説明

◆開始 15 分前に、当所職員と団体代表者の打ち合わせを行います。
◆体験する子ども達、もしくは団体指導者の方に、道具の準備をしていただきます。
◆その後、全体への説明は当所職員が行います。

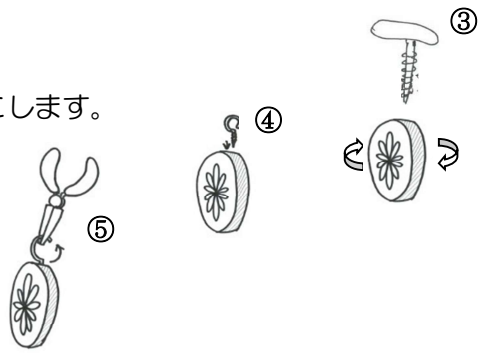
以降は、団体で進行してください。

準備（１作業台　２～３人程度）

①　作業台（丸太イス）を準備します。
②　各自へ使う木片や材料を配布します。

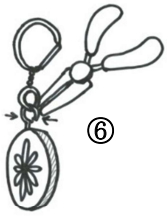
実施

① 木片の表面を紙やすりを使って、色が付きやすくなるように表面がつるつるになるまでみがきます。
② つるつるになったら好きな絵をカラーペンで描きます。
③ 木ねじビットで軽く穴（３㎜程度）をあけます。
　※木片に木ねじビットを差し込み、木片を回して穴をあけるようにします。
④ 木片にヒートンをねじ込みます。
⑤ ヒートンをペンチで開き、キーホルダーの金具に通します。
⑥ ペンチを使って、開いたヒートンを閉じます。



※当所職員は、団体指導者の方と共に安全管理やアドバイスをさせていただきます。活動が落ち着いたタイミングで当所職員は事務室へ戻ります。

何か不明点などあれば、事務室へお声がけください。



片付け

① 道具の数を数えます。

② 道具類は最初にあった場所に戻します。

③ 使用した作業台を元あった場所に戻します。

④ 下に落ちた木くずやゴミを掃除します。ゴミは当所職員が用意したゴミ入れバケツにまとめてください。

⑤ 後片づけは全員で協力して行い、次の団体が気持ちよく活動できるようにしましょう。

※片付けが終了したタイミングで、使用した場所の確認、作成した個数の確認を書面にて職員が行いますので、事務室へお声がけください。

まとめ

・作品を披露し合いましょう。

・ふりかえり。

留意点

・穴あけの際、ヒートンの先端や木ねじビットによる刺し傷等に注意しましょう。

・穴あけの際、木片に木ねじビットを差し込み、木片を回して穴をあけるようにしましょう。

SDGs への取組

・国産間伐材を使うことで、森の豊かさへの貢献ができます。

・自分で作ったクラフトに愛着を持つことで、モノを大切にする気持ちを育めます。